

# 北陸新幹線 立山の至宝展

開業記念  
会期：平成27年4月4日(土)～5月17日(日)



「大日岳の銅錫杖頭」(国指定重要文化財)をはじめ、貴重な立山ゆかりの文化財で、立山文化の魅力を紹介し、長い歴史がはぐくんだ高い文化を再発見できるように。

【展示解説会】  
4/4、①、18、25 5/2、9、16  
※○は特別解説会(いずれも土曜日、14:00～)

# 前期 特別企画展 女性たちの立山

—近世から近代へ—

会期：平成27年7月18日(土)～8月30日(日)



立山にうつしだされる女性のすがた。神のいかりにふれた女性、地獄にさいなまれる女性、救いや癒しを求めて立山へと向かう女性たち…。近世から近代への時代の転換期における女性たちと立山との関係性を探ります。

【展示解説会】  
7/18、25  
8/1、15、22、29  
(いずれも土曜日、14:00～)

立山曼荼羅日光坊A本  
(個人蔵)部分

# 後期 特別企画展 立山と白山

—北陸霊山の開山伝承—

会期：平成27年9月19日(土)～11月15日(日)



立山と白山は、日本三霊山として古くから全国の人々の信仰を集めました。その信仰の姿を、開山者とされる慈興上人と泰澄大師の開山伝承を中心に紹介します。

【展示解説会】  
9/19、26  
10/3、10、24、31  
11/14  
(いずれも土曜日、14:00～)

※特別公開「慈興上人坐像」  
(国指定重要文化財)

2015/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
立山の至宝展				女性たちの立山		立山と白山	
花鳥諷詠		坊家御膳の再現		まんだらナイトウォーク		坊家御膳の再現	修験の祖師と慈興上人像
		青葉呈茶会		たてはく探検隊		もみじ呈茶会	文部省、山を撮る

## 山岳集古未来館収蔵資料展

### 花鳥諷詠

石崎光瑠、創作の背景

会期：平成27年3月17日(火)～6月14日(日)  
場所：山岳集古未来館 観覧料：無料



### 青葉呈茶会

開催日時：平成27年6月7日(日) 11:00～15:00  
場所：富山県[立山博物館]教算坊



### まんだらナイトウォーク

—光りと香りのページェント—

開催日：平成27年8月21日(金)～23日(日)  
会場：富山県[立山博物館]まんだら遊苑  
時間：18:30～20:00  
観覧料：一般400円、大学生320円 ※高校生以下無料



### たてはく探検隊

開催日：平成27年8月8日(土)  
場所：まんだら遊苑 他  
対象：小学生(保護者同伴、要事前申し込み)  
定員：25名 参加費無料



## 【文化講演会】

### 修験の祖師と慈興上人像

霊峰立山の開山とされる慈興上人を表した芦峯寺雄山神社の木彫坐像(鎌倉時代国指定重要文化財)は、役行者像などは異なり、他に類似を見ない祖師像です。その特徴を他の地方霊山の祖師像と比較しつつ解説します。

開催日時：平成27年10月17日(土) 14:00～15:30  
場所：富山県民会館701号室  
講師：石川知彦氏(龍谷ミュージアム副館長)  
定員：80名(先着順)、入場無料

### もみじ呈茶会

開催日時：平成27年11月1日(日) 11:00～15:00  
場所：富山県[立山博物館]教算坊

## 山岳映像企画2015富山

### 文部省、山を撮る

学芸官、中田俊造の活躍

開催日時：平成27年11月7日(土) 14:00開演  
会場：富山県民小劇場オルビス(マリエ富山7階)  
入場料：無料  
対談：中野守久氏(北区飛鳥山博物館学芸員)、  
布川欣一氏(登山史研究者)  
※先着順 約100席の満席次第、締切となります。

## 道者衆の接待「坊家御膳の再現」

立山信仰の里として栄えた芦峯寺の宿坊で、立山登拝のために宿泊した「道者衆」へ振舞われていた御膳を再現します。

開催日時：平成27年5月30日(土)、6月6日(土)、  
10月3日(土)、10月10日(土)  
各日/11:30～13:00  
場所：富山県[立山博物館]教算坊  
定員：各回10名(要事前申込)  
参加費：3,500円(展示館の観覧券付)



## お知らせ

### 展示館常設展示室の 一部リニューアル

#### 1. 2階展示室 入口部の空間演出の変更

立山信仰の世界を象徴する立山頂上社殿(模型)の背景として、ハイビジョンで新たに撮影した雄山山頂付近からの実写映像を大迫力画面で映し出します。模型の周りには常願寺川水系の安山岩製の造形物を配置し、雲海に浮かぶ頂上社殿を表現しました。

#### 2. 2階展示室 布橋灌頂会の映像演出

布橋灌頂会をより理解しやすくするため、すでにあるジオラマ模型に加えて、新たに50インチのモニターを設置し、現代的に復元された布橋灌頂会の模様を見てもらえるようにしました。